みおつくしクラブ大阪（大阪市老人クラブ連合会）

大老連だより

753
令和6年
1月号

大阪市老人クラブ徽章

全国３大運動
健康・友愛・奉仕をめざして
市内全会員に配布

発行所
一般社団法人
大阪市老人クラブ連合会
〒543-0021
大阪市天王寺区東高津町12-10
大阪市立社会福祉センター3階
電　話　事務局 06(4304)8555
編集室 06(4304)8556
ＦＡＸ　06(4304)8557

編集協力 株式会社 博報社 〒547-0026 大阪市平野区喜連西4-6-69　電話 06(6797)0212

活力ある長寿社会の実現

大阪市長　横山　英幸

あけましておめでとうございます。

大阪市老人クラブ連合会の皆様方には、健やかな新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。また、平素から、高齢者施策をはじめ市政各般にわたり、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

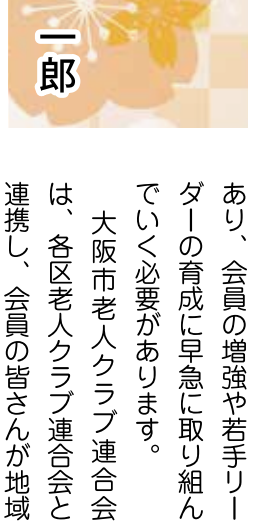
我が国では、２０２５年に団塊の世代が75歳以上となり、その後、２０４０年には団塊ジュニア世代が65歳に到達し始めるという諸外国に例を見ないスピードで高齢化が進行していることから、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援を目的とし、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしができるよう、住まい、医療、介護、予防、生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムを推進しています。

地域包括ケアシステムは、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要となりますが、こうした中で会員の皆様方が、長年培って来られた経験と知識を活かし、日頃から高齢者のいきがいづくりやボランティア活動などに積極的に取り組まれ、活気ある地域コミュニティの形成と高齢者福祉の向上に貢献いただいていることに心から感謝申し上げます。

大阪市におきましても、「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、高齢者一人一人が地域で自立した生活を安心して営み、長寿化した人生を健康でいきいきと豊かに尊厳をもって暮らすことのできる社会の実現をめざし、一層の施策の推進に取り組んでまいります。

また、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする２０２５年大阪・関西万博の成功に向け、機運醸成を図ってまいりますので、皆様方におかれましても、引き続き、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、大阪市老人クラブ連合会のますますのご発展と、皆様方のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げまして新年のごあいさつといたします。



超高齢社会の主人公として

大阪市老人クラブ連合会
理事長　野口　一郎

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には健やかに新春をお迎えになられたことと心よりお慶び申しあげます。また、平素から大阪市老人クラブ連合会のさまざまな取り組みに対しまして、格別のご理解とご協力を賜っておりますことに深く感謝を申しあげます。

近年の高齢社会、情報化社会の進展に伴う高齢者就業率の上昇や趣味・活動の多様化などに加え、会員の高齢化、長きにわたる感染症予防対策による老人クラブ活動の自粛等の影響もあって、会員数の減少が続くなど、大老連はもとより老人クラブの運営は非常に厳しい状況にあります。

高齢者が国民の約３割という超高齢社会を迎え、高齢者も社会の一員として応分の負担を要請されるなど、我々を取り巻く環境も年々厳しい状況となっております。そういう時代だからこそ、高齢者が互いに支えあい励ましあいながら、スポーツや文化活動などの楽しみを共にし、心身ともに健康で長寿の喜びを実感できる人間関係の醸成が極めて大切であり、老人クラブがこの一端を担っております。

老人クラブが、引き続き、仲間づくり活動などを推進し、地域コミュニティの担い手として、援助を必要とする人たちへの支援活動や地域に貢献する活動に取り組んでいくためには、我々の組織基盤を安定させることが不可欠であり、会員の増強や若手リーダーの育成に早急に取り組んでいく必要があります。

大阪市老人クラブ連合会は、各区老人クラブ連合会と連携し、会員の皆さんが地域に根ざしたさまざまな社会参加活動を通じて、人生の充実と長寿の喜びを分かちあえる豊かな社会づくりを進めてまいります。

終わりに、皆様方のより一層のご支援とご協力をお願い申しあげますとともに、会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申しあげ、新年のご挨拶といたします。